

特別活動【児童会活動】－２（高学年） 多様な意見をまとめる力を育成する事例
【学習活動の概要】

<p>1 全校児童集会【代表委員会】 6年生の卒業を祝う集会を開こう</p>															
<p>2 目標 今まで学校の中心となって活躍・貢献した6年生のために、在校生みんなで感謝の気持ちを表して「卒業を祝う集会」を開くことができるようにするとともに、中心となってかかわる5年生に最高学年になるための自覚を高める。</p>															
<p>3 評価規準</p> <p>【集団活動や生活への関心・意欲・態度】 6年生の活躍に関心をもち、その後を引き継ぐ責任の重さなどについて自覚をもち、よりよい卒業生を祝う会の計画・運営に取り組もうとしている。</p> <p>【集団の一員としての思考・判断・実践】 卒業生に感謝と励ましの気持ちが伝わるようにするために何をどのようにすべきかについて自分の考えを話し合い、全校のことを考えながらよりよい方法を総意として決め、決まったことを協力して実践している。</p> <p>【集団活動や生活についての知識・理解】 みんなで6年生に感謝したり励ましたりすることの大切さや全校の意見を話し合ってまとめる方法について理解している。</p>															
<p>4 活動の概要 本活動は、卒業式を1ヶ月後に控えて、5年生を中心とする代表委員会の計画立案によって「6年生の卒業を祝う会」を開催したものである。代表委員会において、各学級で話し合った結果をもとに「活動内容」や「プログラム」、「役割分担」などについて話し合い、決定したことについて事前の準備の活動、当日の運営、事後の振り返りの活動など、1ヶ月間の長期に渡って取り組んだ活動である。</p>															
<p>5 活動の実際 (1)活動の計画</p>															
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="167 1254 295 1310"></th> <th data-bbox="295 1254 957 1310">主 な 活 動 内 容</th> <th data-bbox="957 1254 1412 1310">言語活動に関する指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="167 1321 295 1422">各学級の話合い</td> <td data-bbox="295 1321 957 1422">○各学級での話し合い 卒業を祝う会について各学級の意見を決める。</td> <td data-bbox="957 1321 1412 1422">・一人一人に考えをもたせた上で、集団決定できるようにする。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="167 1433 295 1545">代表委員会①</td> <td data-bbox="295 1433 957 1545">○代表委員会での話し合い① 各学級の意見を整理し、「卒業を祝う会」のプログラムを決定する。</td> <td data-bbox="957 1433 1412 1545">・各学級の意見を整理し、その理由などを分析しながら話し合い、段階的に意見絞り込んでプログラムを決定できるようにする。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="167 1556 295 1668">代表委員会②</td> <td data-bbox="295 1556 957 1668">○代表委員会での話し合い② 各学級の意見を参考にして、「卒業生におくる言葉」を決める。</td> <td data-bbox="957 1556 1412 1668">・各学級の意見からキーワードを取り出し、分類・整理、統合しながら、全校の総意によって「卒業生におくる言葉」が決定できるようにする。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="167 1680 295 1814">児童集会</td> <td data-bbox="295 1680 957 1814">○6年生の卒業を祝う会を開催する。〔2時間〕</td> <td data-bbox="957 1680 1412 1814"></td> </tr> </tbody> </table>		主 な 活 動 内 容	言語活動に関する指導上の留意点	各学級の話合い	○各学級での話し合い 卒業を祝う会について各学級の意見を決める。	・一人一人に考えをもたせた上で、集団決定できるようにする。	代表委員会①	○代表委員会での話し合い① 各学級の意見を整理し、「卒業を祝う会」のプログラムを決定する。	・各学級の意見を整理し、その理由などを分析しながら話し合い、段階的に意見絞り込んでプログラムを決定できるようにする。	代表委員会②	○代表委員会での話し合い② 各学級の意見を参考にして、「卒業生におくる言葉」を決める。	・各学級の意見からキーワードを取り出し、分類・整理、統合しながら、全校の総意によって「卒業生におくる言葉」が決定できるようにする。	児童集会	○6年生の卒業を祝う会を開催する。〔2時間〕	
	主 な 活 動 内 容	言語活動に関する指導上の留意点													
各学級の話合い	○各学級での話し合い 卒業を祝う会について各学級の意見を決める。	・一人一人に考えをもたせた上で、集団決定できるようにする。													
代表委員会①	○代表委員会での話し合い① 各学級の意見を整理し、「卒業を祝う会」のプログラムを決定する。	・各学級の意見を整理し、その理由などを分析しながら話し合い、段階的に意見絞り込んでプログラムを決定できるようにする。													
代表委員会②	○代表委員会での話し合い② 各学級の意見を参考にして、「卒業生におくる言葉」を決める。	・各学級の意見からキーワードを取り出し、分類・整理、統合しながら、全校の総意によって「卒業生におくる言葉」が決定できるようにする。													
児童集会	○6年生の卒業を祝う会を開催する。〔2時間〕														
<p>(2)児童会活動における言語活動 児童会活動で重視すべき主な言語活動は、主としてその運営に当たる高学年児童による話し合い活動である。特に、全校児童の意見を反映して効率よく集団決定できるようにする指導を通して、学校生活の充実と向上を図るために、多様な意見をまとめる力を育成することができる。</p>															

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

小学校学習指導要領・特別活動において、第2の〔児童会活動〕、第3の2(1)〔学級活動〕〔児童会活動〕及び〔クラブ活動〕の指導については、(中略)よりよい生活を築くために集団として意見をまとめるなどの話し合い活動(中略)を充実するよう工夫すること。」を示している。教育基本法の「教育の目標」の三で示された「公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度」を養う上で、全校の意見を反映させながら学校生活の充実向上を図ろうとする児童会活動は大切な活動のひとつである。その指導に当たっては、運営に当たる高学年の児童の話し合い活動を通して、多様な考えを整理、分類しながら意見交換し、学校全体のことに配慮しながらよりよい集団決定ができるようにすることが求められる。

本事例では、その指導の一環として、各学級の多様な意見を、活動の目標に即して整理・分類、比較検討をするとともに、適切な集団決定ができるように指導している。例えば、各学級や個人の意見を「内容や特徴」、「活動方法や形態」などの観点からいくつかに分類したり、その理由を並べて比較したり、自分の興味・関心だけではなく全校の児童のことを考えて適切に判断して選択できるようにしたりした。

【言語活動の充実の工夫】

○話し合い活動①

ねらい 各学級の意見を大事にし、6年生への感謝の気持ちがより伝えやすいものとして、「何をどの順番で行うのか」などのプログラムを決められるようにする。

○短冊カードを操作し、分類・整理する話し合い

取材してきた活動内容(案)を短冊カードに書き、話し合いながらそれらを黒板で自由に操作し分類した結果、どの学級の意見も「出し物」、「みんなでゲーム」、「おくるの言葉」、「プレゼント」、「飾り」の5つに分類できることがわかった。その上で、本活動のねらいである「感謝」と「励まし」に沿って各学級の考えを比較し、それぞれについて一番よい内容を決定した。例えば、「飾り」では、「花のアーチ」と決めた。

○話し合い活動②

ねらい 各学級の意見のよいところを生かして、卒業生への中学校に向けての励ましの気持ちが伝わるような「おくる言葉」が決められるようにする。

○キーワードを取り出して分類・整理する話し合い

各学級が考えた「おくる言葉の」の文章の中から「言葉(キーワード)」だけを取り出して似たものをまとめて分類し、話し合いながらまとめられるようにした。具体的には、その要素として「ファイト」、「GOGO」、「頑張れ」、「強い心」、「負けるな」、「くじけるな」の6つに整理することができ、それらをまとめて「G o G o 6年生 中学校もVっとうごう」と決めた。その理由として「V」とはビクトリー(勝利)という意味で、中学校でも自分に打ち勝ち、強い心で頑張りたいと意味付けた。

本事例においては、代表委員会で高学年としての、また各学年の児童の思いや願いを大切にしながら、効率的な話し合いを行えるようにするため、様々な考えを「短冊カードの操作」や「キーワードの取り出し」などにより分類・整理できるようにした。その上で、「活動のねらいの実現」、「全校児童の思いの反映」という視点から考え、その思いを自分の言葉で発表し合うなどの思考力・表現力を発揮できるようにした。このような言語活動の充実は、高学年としての自覚を高め、集会活動への全校児童の思いを高め、特別活動がねらい人間的な触れ合いのある感動的な集会活動(写真参照)を展開する上で欠かせないものである。

